

参考資料

衛生統計から見た野田市の健康状況

衛生統計から見た野田市の健康状況

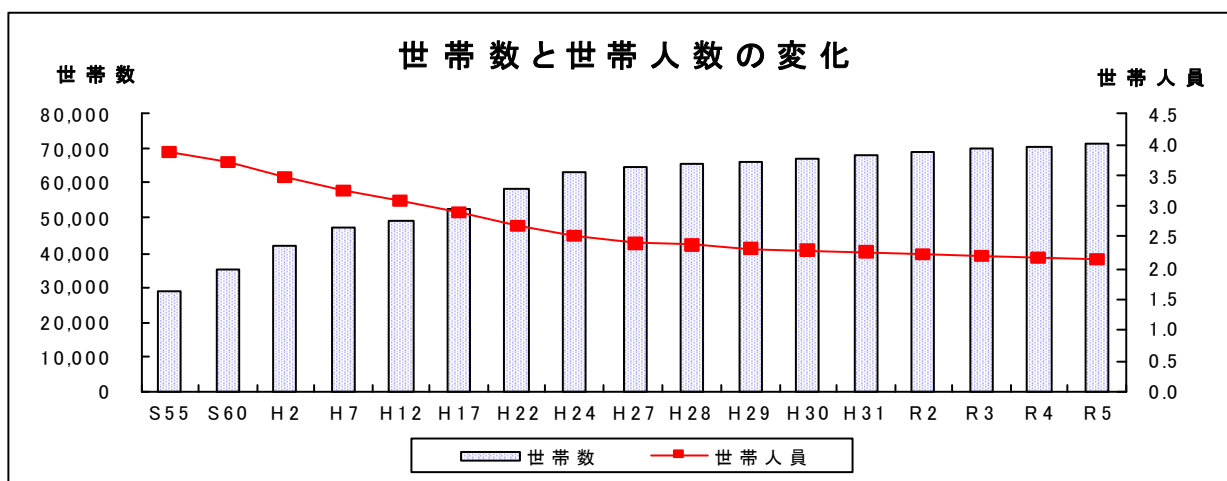
(1) 人口

昭和55年の人口112,753人が、合併後には平成24年の人口157,363人となり、この間約1.4倍と比較的緩やかな増加傾向となっていますが、それをピークに人口は減少傾向にあります。世帯数については、毎年増加傾向を示していますが、1世帯当たりの人員は昭和55年の3.87人から令和5年には2.15人に減少しており、核家族化がより進行しています。年齢階級別人口では、14歳以下の少年人口は昭和55年が26.1%、令和5年は11.0%、65歳以上の老年人口は昭和55年が7.4%、令和5年は31.1%となっており、少子化と高齢化が同時に進行しています。

[人口動態表] 平成12年以前については旧関宿町を含む。

	人口（人）	世帯数（世帯）	世帯当たりの人員（人）
昭和55年	112,753	29,121	3.87
昭和60年	130,870	35,197	3.72
平成2年	145,206	41,809	3.47
平成7年	152,245	47,029	3.24
平成12年	151,197	48,920	3.09
平成17年	151,240	52,347	2.89
平成22年	155,491	58,050	2.68
平成24年	157,363	62,992	2.50
平成27年	155,610	64,609	2.41
平成28年	155,134	65,405	2.37
平成29年	154,772	66,237	2.33
平成30年	154,348	67,122	2.30
平成31年	154,404	68,166	2.27
令和2年	154,330	69,151	2.23
令和3年	153,993	70,022	2.20
令和4年	153,529	70,482	2.18
令和5年	153,600	71,379	2.15

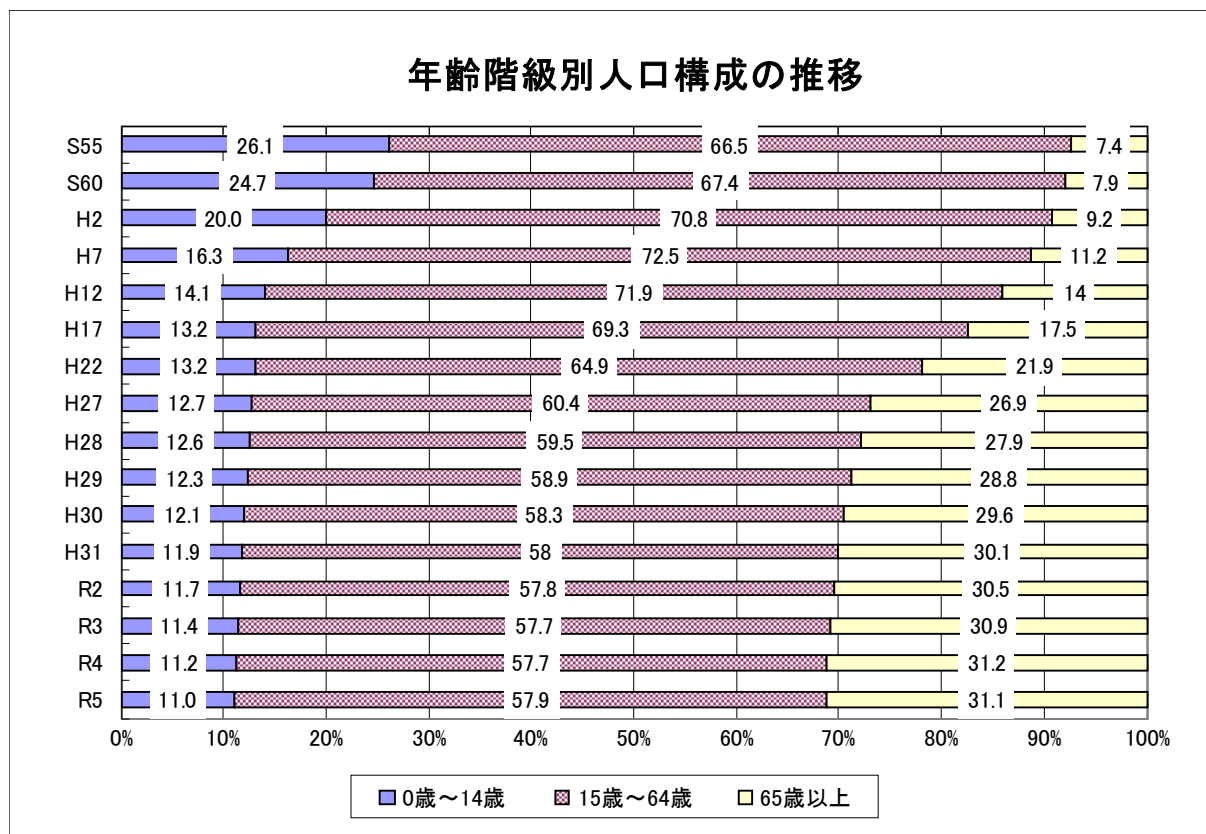
資料：国勢調査資料抜粋（10月1日現在）昭和55年～平成22年
野田市字別人口統計（4月1日現在）平成24年～令和5年



年齢階級別人口構成の推移

	年齢（人）			年齢別割合（％）		
	0歳～14歳	15歳～64歳	65歳以上	0歳～14歳	15歳～64歳	65歳以上
昭和55年	29,428	74,981	8,344	26.1	66.5	7.4
昭和60年	32,325	88,206	10,339	24.7	67.4	7.9
平成2年	28,967	102,761	13,321	20.0	70.8	9.2
平成7年	24,801	110,384	17,015	16.3	72.5	11.2
平成12年	21,298	108,644	21,112	14.1	71.9	14.0
平成17年	19,911	104,790	26,459	13.2	69.3	17.5
平成22年	20,405	100,680	34,020	13.2	64.9	21.9
平成27年	19,805	93,923	41,882	12.7	60.4	26.9
平成28年	19,464	92,316	43,354	12.6	59.5	27.9
平成29年	19,032	91,175	44,565	12.3	58.9	28.8
平成30年	18,688	90,021	45,639	12.1	58.3	29.6
平成31年	18,355	89,624	46,425	11.9	58.0	30.1
令和2年	18,047	89,200	47,083	11.7	57.8	30.5
令和3年	17,594	88,825	47,574	11.4	57.7	30.9
令和4年	17,164	88,514	47,851	11.2	57.7	31.2
令和5年	16,826	88,978	47,796	11.0	57.9	31.1

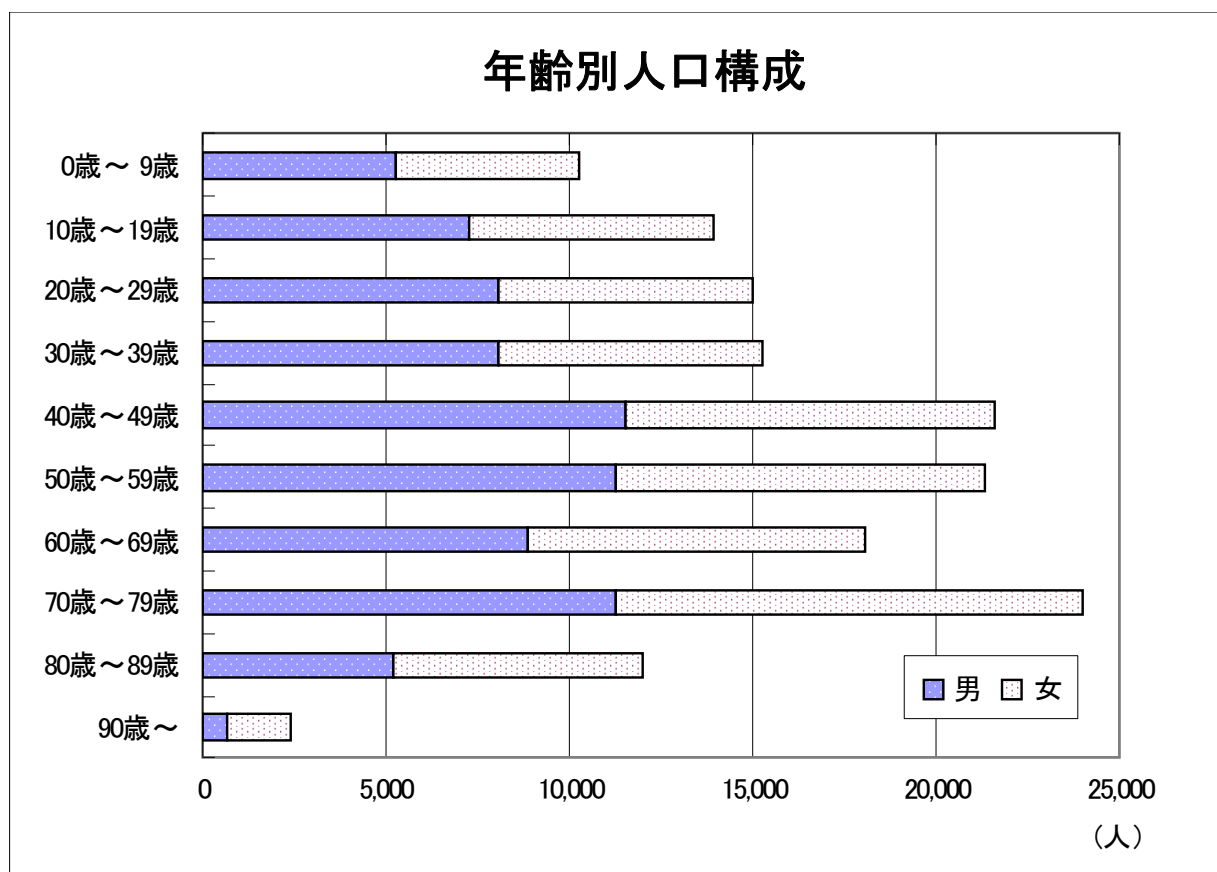
資料：国勢調査資料抜粋（10月1日現在）昭和55年～平成22年
野田市字別人口統計（4月1日現在）平成27年～令和5年



年齢別人口構成 [令和5年]

年齢（人）		男	女	年齢（人）		男	女
0歳～9歳	10,223	5,216	5,007	50歳～59歳	21,333	11,253	10,080
10歳～19歳	13,935	7,250	6,685	60歳～69歳	18,023	8,833	9,190
20歳～29歳	14,946	8,006	6,940	70歳～79歳	23,946	11,217	12,729
30歳～39歳	15,250	8,054	7,196	80歳～89歳	11,981	5,166	6,815
40歳～49歳	21,586	11,527	10,059	90歳～	2,377	619	1,758

資料：令和5年野田市年齢別人口統計4月1日現在

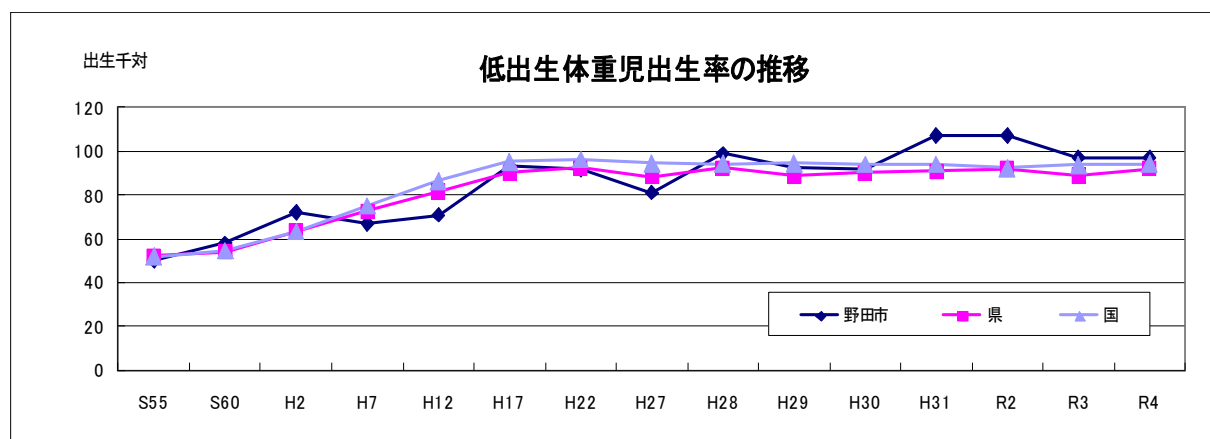
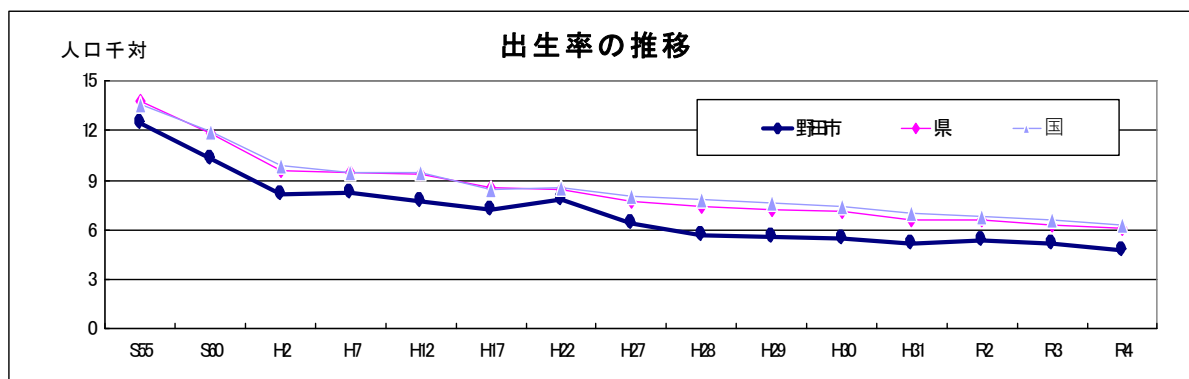


(2) 出生率の推移

出生率（人口千対）は、減少傾向が進んでおり、国及び県を下回る状況で少子化が進行していることを示しています。また、このうち、低出生体重児の出生率（出生千対）は、緩やかに上昇後、平成17年以降は、減少と増加を繰り返しています。

	出生							
	野田市総数		県 (人口千対)	国 (人口千対)	2,500g未満		県 (出生千対)	国 (出生千対)
	実数 (人)	人口千対			実数 (人)	出生千対		
昭和55年	1,421	12.5	13.8	13.6	71	49.9	52.2	51.8
昭和60年	1,348	10.3	11.8	11.9	78	57.9	54.0	54.6
平成2年	1,180	8.1	9.6	9.9	85	72.0	63.6	63.3
平成7年	1,254	8.2	9.5	9.5	84	67.0	72.5	75.1
平成12年	1,171	7.7	9.4	9.5	83	70.9	81.6	86.5
平成17年	1,082	7.2	8.5	8.4	101	93.3	90.0	95.3
平成22年	1,208	7.8	8.4	8.5	111	91.9	92.4	96.2
平成27年	975	6.4	7.7	8.0	79	81.0	88.4	94.5
平成28年	870	5.7	7.4	7.8	86	98.9	92.4	94.3
平成29年	855	5.6	7.2	7.6	79	92.4	89.0	94.5
平成30年	839	5.5	7.1	7.4	77	91.8	90.1	94.0
平成31年	775	5.1	6.6	7.0	83	107.1	90.9	94.1
令和2年	811	5.4	6.6	6.8	87	107.3	92.1	92.2
令和3年	772	5.1	6.3	6.6	75	97.2	89.0	93.7
令和4年	699	4.7	6.1	6.3	68	97.3	92.0	94.2

資料：野田健康福祉センター事業年報



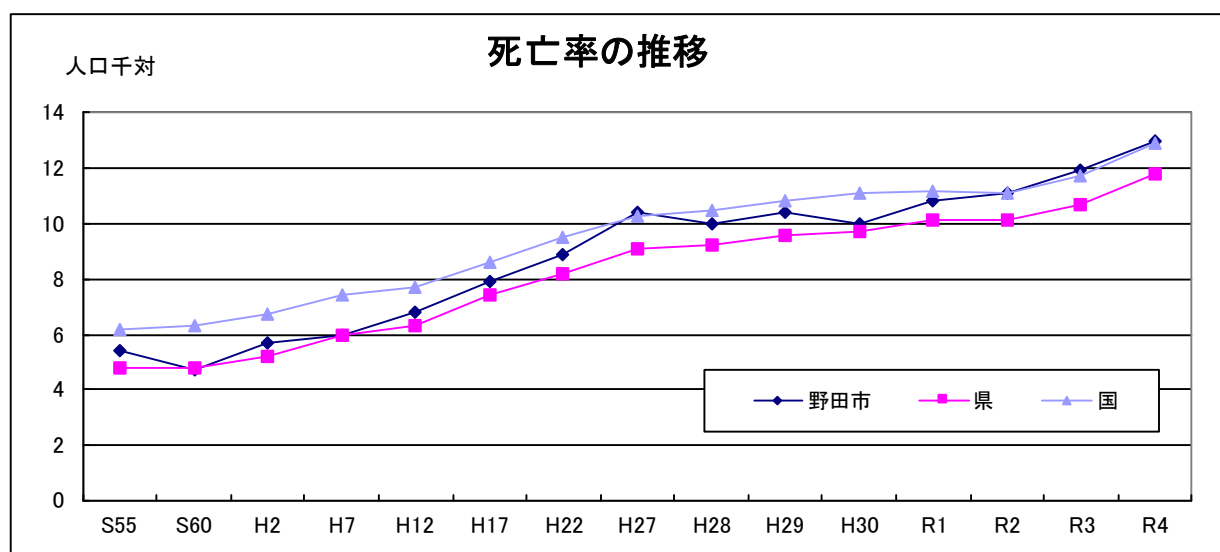
(注) 低出生体重児：出生時の体重が2,500g未満の新生児をいう。(WHOの定義)

(3)－1 死亡率の推移

昭和55年から昭和60年にかけては、0.7減少しましたが、平成2年以降は上昇し、県の死亡率を上回っています。

	野田市		県 (人口千対)	国 (人口千対)
	実数(人)	人口千対		
昭和55年	619	5.4	4.8	6.2
昭和60年	615	4.7	4.8	6.3
平成2年	826	5.7	5.2	6.7
平成7年	915	6.0	6.0	7.4
平成12年	1,030	6.8	6.3	7.7
平成17年	1,202	7.9	7.4	8.6
平成22年	1,380	8.9	8.2	9.5
平成27年	1,576	10.4	9.1	10.3
平成28年	1,527	10.0	9.2	10.5
平成29年	1,577	10.4	9.6	10.8
平成30年	1,524	10.0	9.7	11.0
令和1年	1,637	10.8	10.1	11.2
令和2年	1,663	11.1	10.1	11.1
令和3年	1,791	11.9	10.7	11.7
令和4年	1,937	13.0	11.8	12.9

資料：野田健康福祉センター事業年報

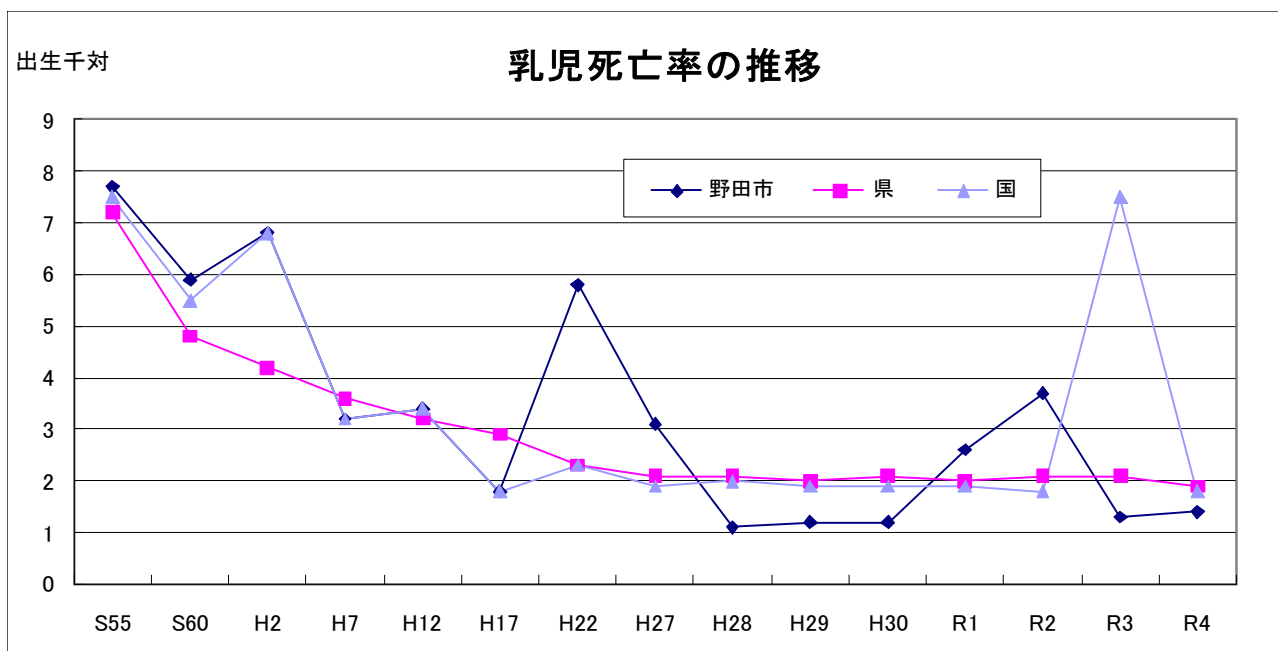


(3)－2 乳児死亡率の推移

乳児死亡（生後1年未満の死亡）率は、昭和55年以降減少傾向にありましたが、国、県の乳児死亡率を上回る年があります。

	野田市		県 (出生千対)	国 (出生千対)
	実数(人)	出生千対		
昭和55年	11	7.7	7.2	7.5
昭和60年	8	5.9	4.8	5.5
平成2年	8	6.8	4.2	6.8
平成7年	4	3.2	3.6	3.2
平成12年	4	3.4	3.2	3.4
平成17年	2	1.8	2.9	1.8
平成22年	7	5.8	2.3	2.3
平成27年	3	3.1	2.1	1.9
平成28年	1	1.1	2.1	2.0
平成29年	1	1.2	2.0	1.9
平成30年	1	1.2	2.1	1.9
令和1年	2	2.6	2.0	1.9
令和2年	3	3.7	2.1	1.8
令和3年	1	1.3	2.1	7.5
令和4年	1	1.4	1.9	1.8

資料：野田健康福祉センター事業年報

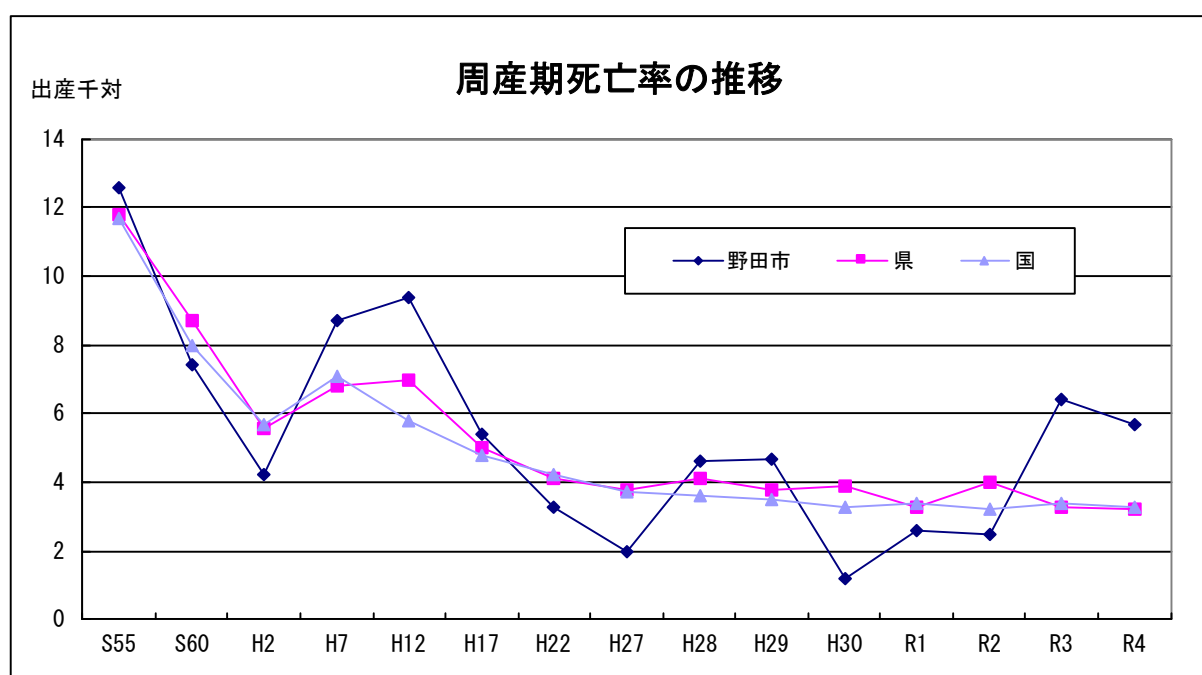


(3)－3 周産期死亡率の推移

周産期死亡（妊娠満22週以後の死産と早期新生児死亡を合わせたもの）率は、昭和55年から平成2年にかけては、減少傾向にありましたが、平成7年から平成12年までは増加し、平成17年以降は、減少と増加を繰り返しています。

	野田市		県 (出生千対)	国 (出生千対)
	実数(人)	出生千対		
昭和55年	18	12.6	11.8	11.7
昭和60年	10	7.4	8.7	8.0
平成2年	5	4.2	5.6	5.7
平成7年	11	8.7	6.8	7.1
平成12年	11	9.4	7.0	5.8
平成17年	6	5.4	5.0	4.8
平成22年	4	3.3	4.1	4.2
平成27年	2	2.0	3.8	3.7
平成28年	4	4.6	4.1	3.6
平成29年	4	4.7	3.8	3.5
平成30年	1	1.2	3.9	3.3
令和1年	2	2.6	3.3	3.4
令和2年	2	2.5	4.0	3.2
令和3年	5	6.4	3.3	3.4
令和4年	4	5.7	3.2	3.3

資料：野田健康福祉センター事業年報



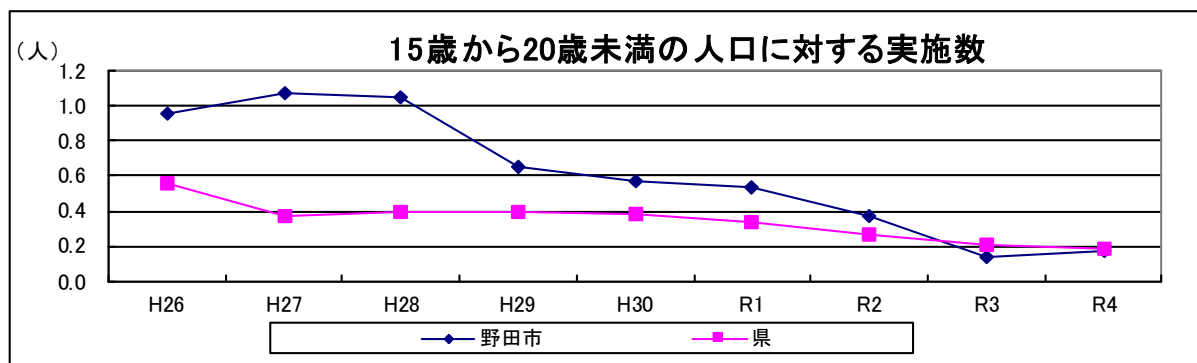
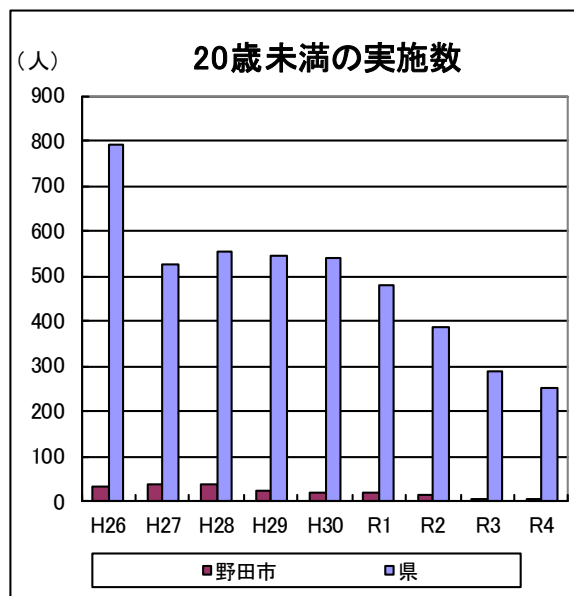
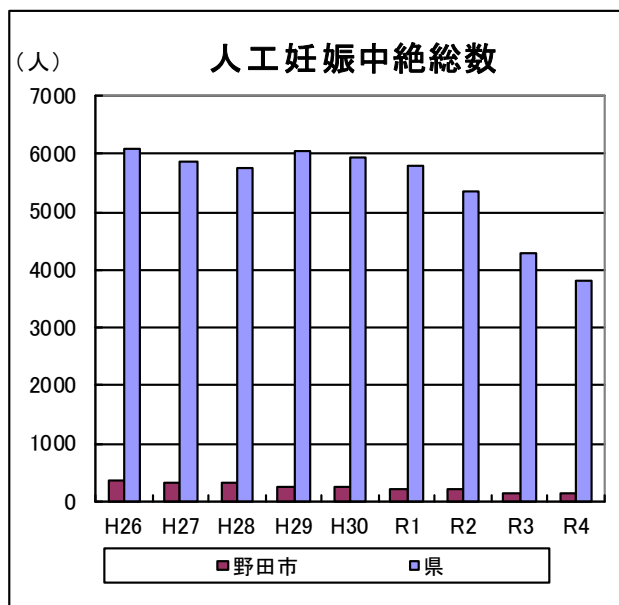
(4) 20 歳未満における人工妊娠中絶実施数の推移

緩やかな下降傾向にあり、15 歳から 20 歳未満の人口に対する実施数の割合は、令和 3 年度で県の 0.21% に対し、0.14% と割合が低い状況です。

	人工妊娠中絶総数		20 歳未満の実施数		15 歳から 20 歳未満の人口に対する実施数の割合			
	野田市 (人)	県 (人)	野田市 (人)	県 (人)	野田市		県	
					人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)
平成 26 年度	361	6,096	34	791	3,591	0.95	141,199	0.56
平成 27 年度	334	5,879	38	525	3,559	1.07	141,004	0.37
平成 28 年度	316	5,747	37	556	3,518	1.05	141,585	0.39
平成 29 年度	261	6,051	23	546	3,547	0.65	141,540	0.39
平成 30 年度	266	5,928	20	538	3,525	0.57	141,681	0.38
令和 1 年度	211	5,797	19	482	3,513	0.54	140,805	0.34
令和 2 年度	210	5,356	13	385	3,527	0.37	140,254	0.27
令和 3 年度	149	4,291	5	290	3,528	0.14	137,374	0.21
令和 4 年度	145	3,813	6	250	3,498	0.17	135,443	0.18

※野田市の人工妊娠中絶総数及び 20 歳未満の実施数には、市外在住者分も含まれる。

資料：人口妊娠中絶総数、20 歳未満の実施数は、千葉県衛生統計年報、野田健康福祉センター事業年報
15 歳から 20 歳未満の人口は、千葉県年齢別・町丁別人口

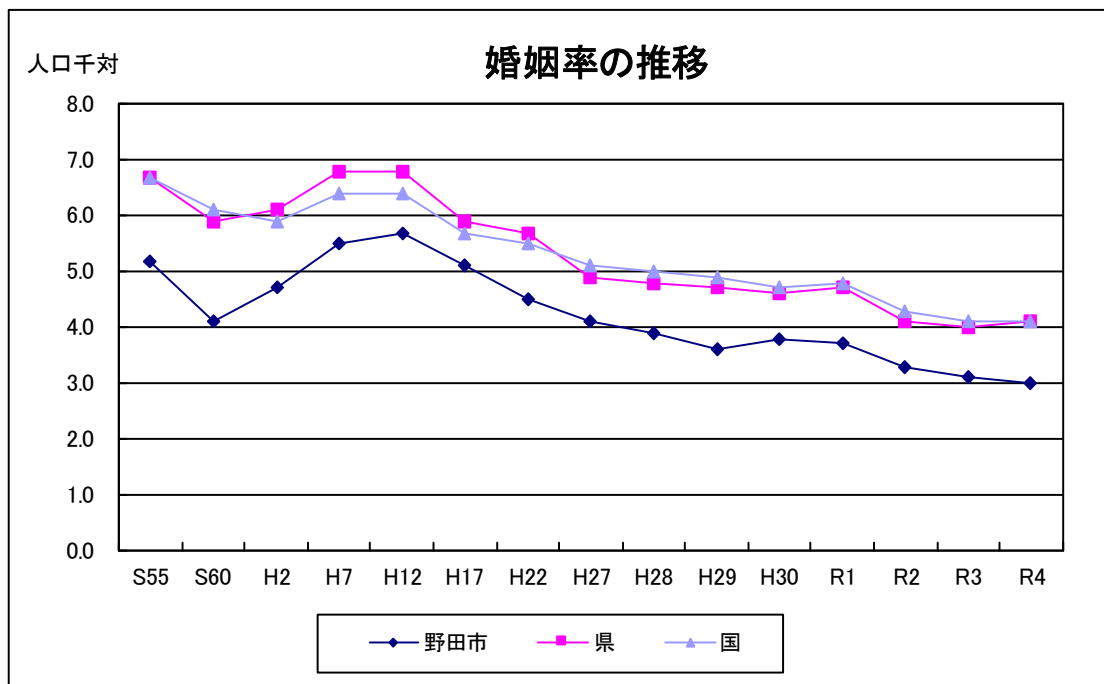


(5) 婚姻及び離婚の状況

婚姻の状況については、平成2年から平成12年までは上昇傾向にありましたが、平成17年から下降傾向になっており、国、県の婚姻率を下回っています。

婚姻	野田市		県 (人口千対)	国 (人口千対)
	件 数	人口千対		
昭和 55 年	587	5.2	6.7	6.7
昭和 60 年	530	4.1	5.9	6.1
平成 2 年	697	4.7	6.1	5.9
平成 7 年	841	5.5	6.8	6.4
平成 12 年	860	5.7	6.8	6.4
平成 17 年	775	5.1	5.9	5.7
平成 22 年	705	4.5	5.7	5.5
平成 27 年	619	4.1	4.9	5.1
平成 28 年	591	3.9	4.8	5.0
平成 29 年	542	3.6	4.7	4.9
平成 30 年	584	3.8	4.6	4.7
令和 1 年	564	3.7	4.7	4.8
令和 2 年	490	3.3	4.1	4.3
令和 3 年	463	3.1	4.0	4.1
令和 4 年	445	3.0	4.1	4.1

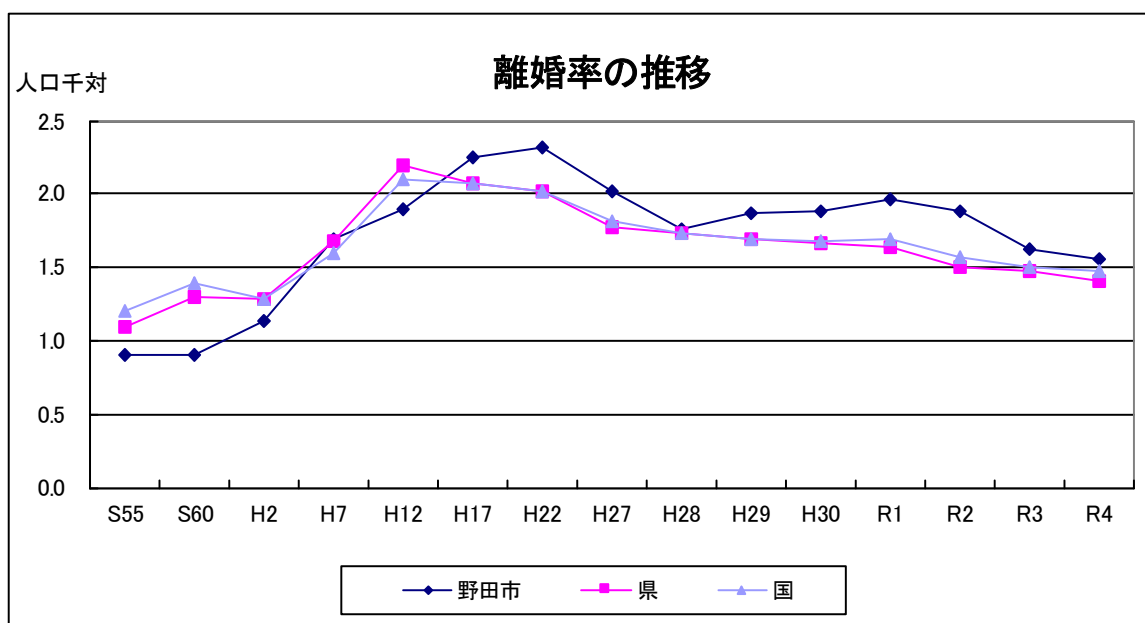
資料：野田健康福祉センター事業年報



離婚の状況については、昭和 55 年以降上昇傾向でしたが、平成 22 年をピークに、以降減少傾向となっているものの、国、県の離婚率を上回っています。

	野田市		県 (人口千対)	国 (人口千対)
	件 数	人口千対		
昭和 55 年	103	0.90	1.10	1.20
昭和 60 年	122	0.90	1.30	1.40
平成 2 年	165	1.14	1.28	1.28
平成 7 年	257	1.69	1.68	1.60
平成 12 年	291	1.90	2.20	2.10
平成 17 年	340	2.25	2.08	2.08
平成 22 年	358	2.32	2.02	2.02
平成 27 年	307	2.02	1.78	1.81
平成 28 年	269	1.76	1.73	1.73
平成 29 年	284	1.87	1.69	1.70
平成 30 年	286	1.89	1.67	1.68
令和 1 年	296	1.96	1.64	1.69
令和 2 年	285	1.89	1.50	1.57
令和 3 年	243	1.62	1.47	1.50
令和 4 年	233	1.56	1.41	1.47

資料：野田健康福祉センター事業年報



(6) 主要死因別死亡状況

悪性新生物、心疾患及び老衰の上位死因が、主要死因全体の約7割を占めています。

[令和4年]

順位	野田市			県		国	
	死因	実数(人)	人口10万対	死因	人口10万対	死因	人口10万対
1	悪性新生物	494	330.7	悪性新生物	297.5	悪性新生物	316.1
2	心疾患	240	160.7	心疾患	185.9	心疾患	190.9
3	老衰	210	140.6	老衰	124.0	老衰	147.1
4	脳血管疾患	132	88.4	脳血管疾患	80.3	脳血管疾患	88.1
5	肺炎	96	64.3	肺炎	61.1	肺炎	60.7
6	誤嚥性肺炎	75	50.2	誤嚥性肺炎	39.6	誤嚥性肺炎	45.9
7	腎不全	45	30.1	不慮の事故	27.2	不慮の事故	35.6
8	不慮の事故	42	28.1	高血圧性疾患	19.8	腎不全	25.2
9	間質性肺疾患	41	27.4	腎不全	19.1	アルツハイマー病	20.4
10	血管性及び詳細不明の認知症	27	18.1	間質性肺疾患	17.8	血管性及び詳細不明の認知症	20.0

資料：野田健康福祉センター事業年報

(7) 悪性新生物死亡状況

「気管、気管支及び肺」及び「結腸」の悪性新生物の死亡数が多く、主要悪性新生物の部位全体の約4割を占めています。

部位別悪性新生物死亡状況 [令和4年]

(単位:人)

順位	部位	実数	男	女
1	気管、気管支及び肺	82	67	15
2	結腸	64	35	29
3	胃	53	44	9
4	膵	52	31	21
5	肝及び肝内胆管	33	26	7
6	直腸S状結腸移行部及び直腸	26	15	11
7	乳房	20	0	20
7	前立腺	20	20	0
9	胆のう及びその他の胆道	19	11	8
10	悪性リンパ腫	17	7	10

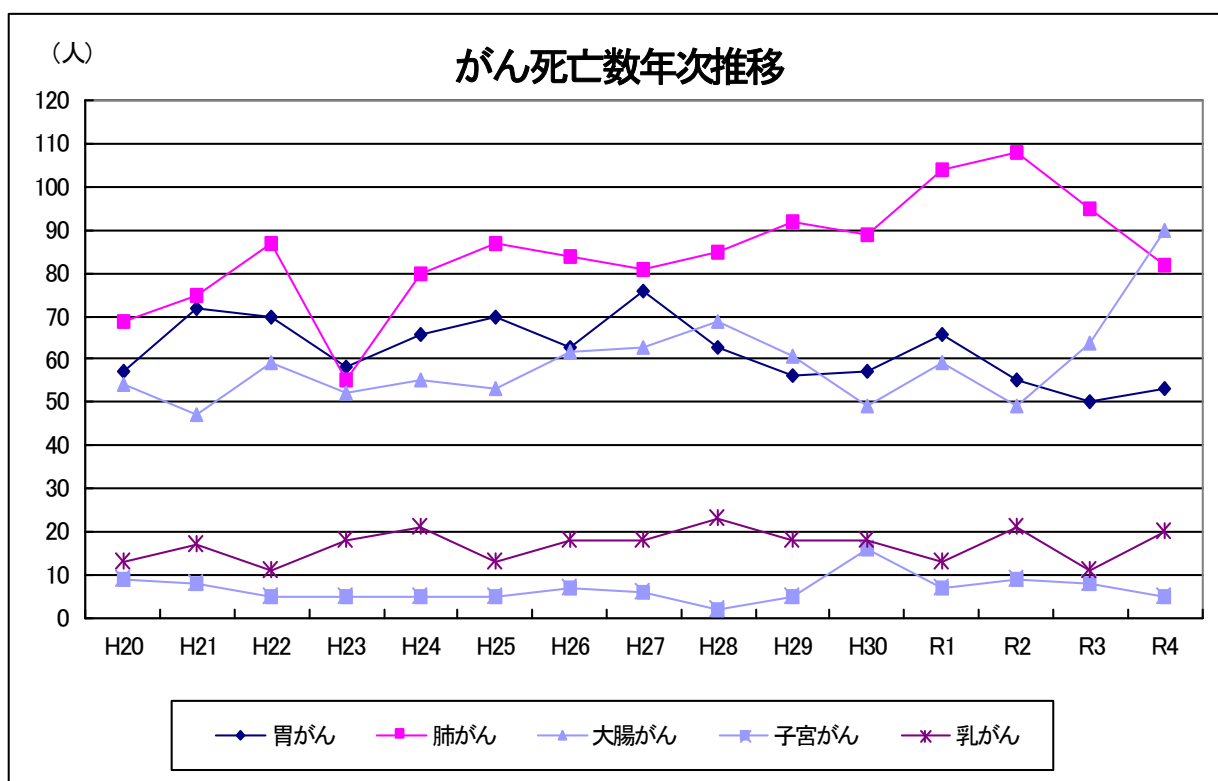
資料：野田健康福祉センター事業年報

◇がん死亡数年次推移

(単位：人)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
胃がん	57	72	70	58	66	70	63	76	63	56	57	66	55	50	53
肺がん	69	75	87	55	80	87	84	81	85	92	89	104	108	95	82
大腸がん	54	47	59	52	55	53	62	63	69	61	49	59	49	64	90
子宮がん	9	8	5	5	5	5	7	6	2	5	16	7	9	8	5
乳がん	13	17	11	18	21	13	18	18	23	18	18	13	21	11	20

資料：野田健康福祉センター事業年報



[令和5年度]

	対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)	要精検者 (人)	精検 受診者 (人)	精検 受診率 (%)	がん 発見数 (人)
若者健康診査	4,609	516	11.2				
特定健康診査	22,936	7,475	33.4				
後期高齢者健康診査	25,337	7,618	30.1				
健康診査(生活保護受給者)	1,438	42	2.9				
胃がん検診	99,246	4,618	4.7	299	283	94.6	7
結核・肺がん検診	99,246	11,706	11.8	183	170	92.9	0
大腸がん検診	99,246	13,436	13.5	828	655	79.1	18
子宮がん検診	64,767	9,244	14.3	84	77	91.7	1
乳がん検診	57,827	11,150	19.3	201	184	91.5	13

※がん検診の対象者数：4月1日現在の住民基本台帳に基づく人口を用いて算出

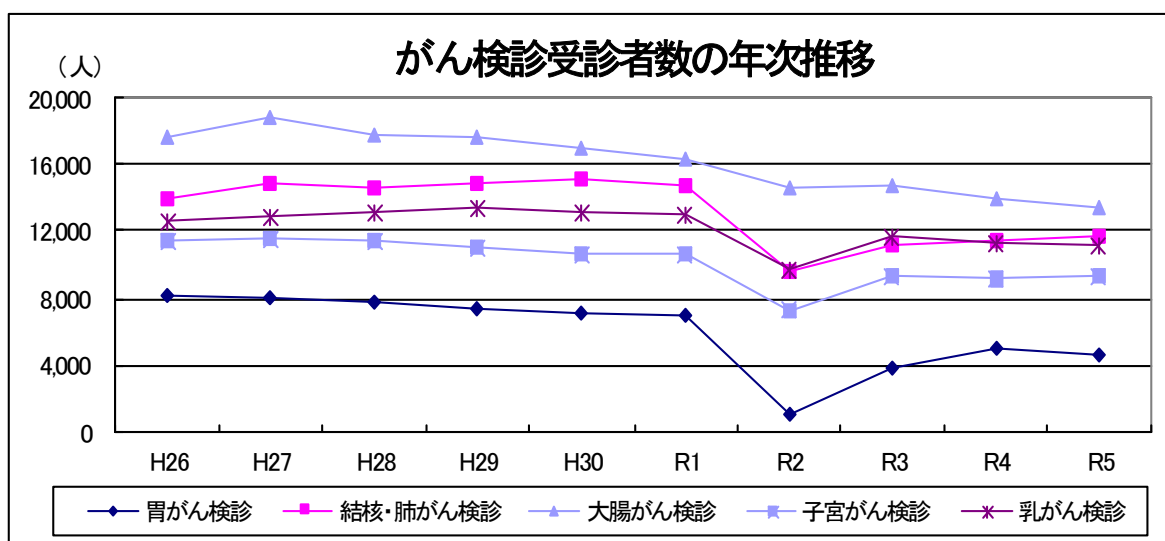
対象者

若者健康診査	18歳以上で特定健康診査対象年齢前の国民健康保険加入者
特定健康診査	40歳以上74歳以下の国民健康保険加入者
後期高齢者健康診査	後期高齢者医療制度加入者
健康診査 (生活保護受給者)	40歳以上の生活保護受給者
胃がん検診	40歳以上の方
結核・肺がん検診	40歳から64歳までは、肺がん検診 65歳以上の方は、結核及び肺がん検診
大腸がん検診	40歳以上の方
子宮がん検診	20歳以上の女性の方
乳がん検診	30歳以上の女性の方

(9) 特定健康診査及びがん検診受診者数の年次推移

(単位：人)

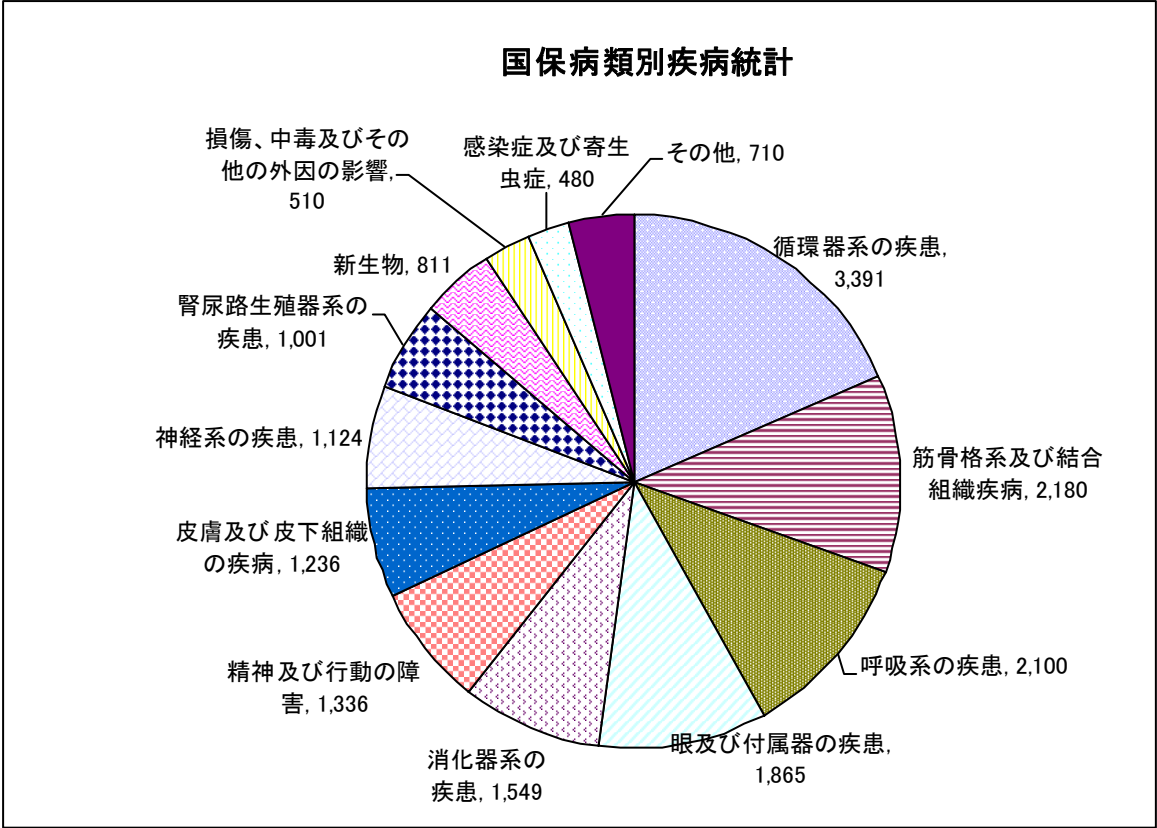
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
胃がん検診	8,201	8,131	7,831	7,488	7,177	6,996	1,135	3,829	5,071	4,618
結核・肺がん検診	13,969	14,858	14,580	14,838	15,121	14,698	9,615	11,076	11,429	11,706
大腸がん検診	17,608	18,786	17,776	17,621	16,893	16,228	14,619	14,675	13,846	13,436
子宮がん検診	11,450	11,575	11,349	11,046	10,633	10,598	7,328	9,296	9,153	9,244
乳がん検診	12,543	12,915	13,089	13,339	13,124	13,045	9,675	11,700	11,305	11,150
若者健康診査	—	—	—	—	975	727	597	548	520	516
特定健康診査	11,377	11,366	10,754	10,264	10,335	9,936	8,702	8,612	7,899	7,475
後期高齢者健康診査	4,542	4,808	5,054	5,659	6,240	6,876	6,689	6,791	7,255	7,618
健康診査 (生活保護受給者)	15	16	15	13	16	19	25	30	13	42



(10) 千葉県における国民健康保険病類別疾病統計（令和5年度）

国民健康保険の被保険者に係る医療給付の実態を明らかにし、疾病予防等の保健事業活動に資することを目的とし、千葉県国民健康保険団体連合会において6月に審査決定した5月診療分として請求されたレセプト（診療報酬明細書）を対象とする。

	総数	入院 件数	入院外 件数
①感染症及び寄生虫症	480	6	474
（内、結核）	1	0	1
②新生物	811	78	733
③血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	58	2	56
④内分泌、栄養及び代謝疾患	3,526	10	3,516
（内、糖尿病）	1,854	4	1,850
⑤精神及び行動の障害	1,336	112	1,224
⑥神経系の疾患	1,124	87	1,037
⑦眼及び付属器の疾患	1,865	18	1,847
⑧耳及び乳様突起の疾患	246	1	245
⑨循環器系の疾患	3,391	73	3,318
（内、高血圧性疾患）	2,316	1	2,315
（内、脳血管疾患）	177	21	156
⑩呼吸系の疾患	2,100	33	2,067
⑪消化器系の疾患	1,549	54	1,495
（内、胃及び十二指腸疾患）	545	5	540
⑫皮膚及び皮下組織の疾病	1,236	6	1,230
⑬筋骨格系及び結合組織疾病	2,180	36	2,144
⑭腎尿路生殖器系の疾患	1,001	28	983
⑮妊娠・分娩及び産じょく	12	4	8
⑯周産期に発生した病態	3	1	2
⑰先天奇形、変形及び染色体異常	13	2	11
⑱病状・徴候及び診断名不明確	334	10	324
⑲損傷、中毒及びその他の外因の影響	510	48	462
⑳特殊目的用コード(SARS 含む)	44	4	40
総 計	21,829	613	21,216



※令和5年5月診療分（歯科を除く。）